

こしば新聞

令和5年2月6日(月)55号



【お問い合わせ先】

自由民主党
東京都品川区第三十四支部
〒140-0014

品川区大井 5-6-2-101

☎ 090-6106-2272

Fax 03-6303-7037

※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。



ご相談や区政へ
のご意見をお聞
かせ下さい。
☎ぜひラインも

新年度予算案

2月2日、品川区は令和5年度
の予算案を発表しました。
予算案の一般会計は1987
億9400万円。前年度比5、
1%の増です。歳入をみま
すと前年に比べて、特別区民
税の増および市町村民税法
人の増による都区財政調整
交付金の増などにより、前
年度比約78億円の増を見込
みました。一方で、基金134億
円を取り崩し、区政の喫緊の
課題に対応することになりま
した。また学校改築費の財源
として、51億円の起債を発
行することになります。
それでは新年度予算案のう
ち、新しい施策について列挙
いたします。

第2子保育料無償化

認可保育施設の0〜2歳の第
2子の保育料が都に先駆けて
4月から無償化されること
になります。また認証保育所
の保育料についても助成が拡
充されます。すでに東京都は
10月から第2子の保育料を
無償化すると発表しています
が、

品川区は都に先駆けて無償
化に踏み切ります。

この無償化は所得制限を設
けない無償化となります。

学校給食無償化

区立学校に通うすべての子育
て家庭の負担と不安を減ら
し安心して子育てができる環
境作りの一環で、区立学校の
全児童・生徒分の給食食材費

医療費無償化

を全額、区で負担することに
なります。

品川区に住む高校生を対象
にして医療費の保険診療分の
自己負担額・入院時の食事代
を区の負担で助成します。
すでに東京都の制度では高校
生等医療費助成があります。
しかしこの制度では、所得制
限が設けられています。その
ために施策の恩恵を受けるこ
とができない高校生にも、こ
のたび区は独自の上乗せ助成
を行うことで無償化が実現
されます。

おむつ宅配定期訪問

区は0歳児を養育するご家
庭を対象にして月1回の頻度
でおむつ等育児用品の対面配
達(見守り)を実施します。

品川版預かりモデル

これは定期的な訪問によっ
て育児の孤立化を防ぎ、保護
者の精神面、経済面で支援を
充実させていくことが狙いで
す。

いま、保育所を利用していな
い(利用できない)未就園児
を育てている家庭が孤立した
子育てを強いられているケー
スが報告されています。区は
地域の中で孤立しやすい未就
園児を保育所などで定期的
に預かることで、こどもたち
の発達を促すほか、保護者の
育児負担を軽くし、こどもが
健やかに育つ環境を整備しま
す。区は週に1〜2日程度、保
育所などの空き定員を活用
して未就園児を預かる方向
です。

補聴器購入助成

加齢による難聴で意思疎通
がしづらくなると、生活の質
の低下やフレイル(体力や気
力が低下し虚弱になっていく
状態)、さらには認知症のリス
クが高まるとされています。
区はこのたび、65歳以上・住
民税非課税で中等度難聴な
どの方を対象に補聴器の購入
費を助成することになりました。
一人当たり上限3万5千
円まで補助される予定です。

带状疱疹ワクチン予防

带状疱疹ワクチン予防接種費
用の一部を助成することにな
ります。50歳以上の区民が
対象、弱毒化生ワクチンにつ
いては1回接種の5千円を助成、
不活化ワクチンについては2
回接種の1万円が助成される
予定です。背景としてコロナ

禍で帯状疱疹の患者が増えていることが報告されているようです。

民間倉庫の活用

災害時に備えて区は民間事業者と連携し、大型の民間倉庫を輸送拠点として活用し、平常時と有事の体制が統一された物資の輸送・管理体制を確立することでスムーズな物資供給につなげるとしています。この事業は都内でも初の事業です。命を守り、つなげていくために支援物資の供給が担保される仕組み、環境がより一層進んでいきます。

現庁舎跡地等の活用検討

新庁舎の整備計画が進んでいる一方で、現庁舎の跡地利用についても日ごろから地域の方から様々なお声を頂いています。区は、ワークショップの開催やアンケートを実施することで区民の声を活かした新しい街づくりにつなげるための調査を行う予定です。地域とスポーツをコラボさせるアーリーナ建設、家族とペットが伸び伸びと過ごせるドッグラン、伝統芸能を繋いでいくうえで

欠かせない練習の場など、多くの方から私もお声を聴いています。現庁舎の跡地利用が今後の大井町、品川区の未来の盛衰がかかっているといっても過言ではないほど、大きな課題であり議会の責任でもあります。

これまで、品川区の当初予算案についてピックアップさせていただきました。全体を通じて未来を担うことも、こどもを育てる家庭にやさしい予算案の印象を受けました。これ以外にも拡充された施策などもあります。3月の予算特別委員会は今期最後の質問になります。この4年間の集大成ともいえる質問ができるようこれまで以上に全身全霊をかけて取り組んでいきます。

行政視察

1月31日から2月2日にかけて会派一同で区有施設を行政視察してきました。

初日は、南品川にある障害児者支援施設を見学。短期入所されている方の生活の一部を見学させていただきました。短期入所の方々がみなそれぞれ

れ、職員の方が寄り添ってサポートを受けながらその一日を懸命に生きています。カフェでは、一生懸命にレジ打ちをする方がいました。サポートを受けながら、きちんと丁寧に仕事をされている姿に心が打たれました。

そのあとは、五反田にあります荏原調節池を見学。水害時に危険水位を超えた目黒川の水を川に隣接する貯水池が取り込み、氾濫を防ぐ狙いです。こちらは地下4階の構造となっていて、取り込んだ水をまずは地下1階がため込み、一定の水位を超えると地下2階に水が流れ込み、最後は地下4階が満杯になるという仕組みです。全体の体積は20万m³。施工後、一度だけ平成16年の水害時に満水になりましたが、それ以降は目黒川周辺の排水技術が進歩したことにより安定しているそうです。この施設、とても暗くてひんやりしましたが、強度がしっかりしています。ですの

で、この施設を避難施設として活用できないのか検討していくべきと思います。特に川

よりも下に位置するため、ミサイルから命をまもるシールドターとして活用できるのではないかと考えます。



地下1階から撮影。危険水位を超えると水が流れる。

八潮にある資源化センターにも視察してきました。こちら



ペットボトルの分別作業

は、ペットボトル、びんなど回収されてきた資源ごみを分別する施設です。ペットボトルは分別のあと、圧縮されます。その圧縮されたものをペレットとよばれる粉状に変えていくのですが、ラベルやキャップがついたままだとそのあとの作業効率が悪くなります。効率が悪くなれば、時間がかかり、時間がかかれば費用がかかります。結果として予算が増え、結果として予算が増え、誰かが少しの手間をかけること

エコルとごしは今回で4回目の視察でした。ぜひ行ったことがない方、足を運んでみてはいかがでしょう。こどもも大人も楽しみながら学べることも間違いなしです。当初は年間の入館者数は3万人程度と予想されていましたが、すでに20万人の入館です。ここは入館が無料。ヒノキの温かいぬくもりに囲まれながら、しばしの間、都会の喧騒を忘れてみてはいかがでしょう。ぜひおススメです。

